

What's New?

— YA コーナーに新しく入った本をご紹介します —

10代のための 読書地図



『10代のための読書地図』

本の雑誌編集部／編 本の雑誌社

本書は書店員が10代におすすめする本を紹介したものです。色々なジャンルの本が掲載されているので、何を読んだらいいかわからないあなたにも、ピッタリな1冊が必ず見つかります。かつて10代だった人にもおすすめです。

『君色パレット いつも側にいるあの人 多様性をみつめるショートストーリー』

高田 由紀子、^{みつもち}光用 千春、^{こでまり}小手鞠 るい、
いとう みく／著 佳奈／絵 岩崎書店

多様性をテーマにしたショートストーリーシリーズの1冊。ネイルアートが得意な少年、対照的な性格の幼なじみ、海外で暮らす父子と菜食主義の恋人、2人のお母さんと娘。主人公たちが周囲の人々との距離間を通して自分だけの“君色”を探す物語です。

自分自身やこの世界の様々な人々のことを見つけるきっかけになる物語です。

◆本の表紙掲載については、出版社の許諾を得ています
◆表紙写真は「フリー素材ぱくたそ」(www.pakutaso.com)より

長岡市立地域図書館(7館)

- | | | | |
|----------|------------|-----------------|------------|
| ■ 互尊文庫 | TEL35-7981 | ■ 中之島地域図書館 | TEL61-2165 |
| ■ 西地域図書館 | TEL27-4900 | ■ 寺泊地域図書館 | TEL75-5159 |
| ■ 南地域図書館 | TEL30-3501 | ■ 栃尾地域図書館 | TEL53-3005 |
| ■ 北地域図書館 | TEL22-7100 | ◎お問い合わせは北地域図書館へ | |

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail:lib.kita@nscs-net.ne.jp
図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

編集・発行／指定管理者 株式会社図書館流通センター(TRC)

長岡市立地域図書館(7館) 中高生向け図書館だより

YAN Summer 2022

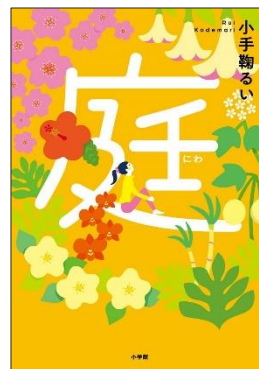
2022.6.1
発行



「晴れた日の積乱雲」 photo by すしばく

『庭』 ^{こでまり}小手鞠 るい／作 小学館

親友の裏切りで傷つき、不登校になった中学生の少女・真奈。春休みの間、日常から逃げ出すように向かった先は、おばあちゃんがいるハワイ。知らない場所へ旅に出る真奈の心は、不安と期待、そして人に対する不信感でいっぱいでしたが、ハワイで過ごす日々は真奈にとって冒険そのものでした。ハワイの雄大な自然やそこに住む人々の優しさに触れ、真奈の心はどんどんキラキラしていきます。未知の体験へのわくわく感や、見たこともないハワイの景色が浮かんでくるような素敵な本です。ぜひ読んでみてくださいね。



ヤングアダルトとは、12歳～18歳くらいのみなさんのことです。

冒険!!

2022 Summer

「成功するか分からない。でも、目の前の壁に挑んでみたい…」
そんな風に思ったら、もうそこが冒険への第一歩。
時には危険を伴うこともある。未知の体験の
きみなら、どんなふうに乗越えますか?



『チポロ』 菅野 雪虫 / 著 講談社



天上には神、地上には人間と魔物が住む世界。貧乏で体が小さく、狩りも下手な少年チポロは、ツルを射落として自信をつけます。ある日、魔物が村を襲い、幼なじみのイレシュが連れ去られてしまいます。チポロは鍛錬を積み、父の形見の矢を手し、イレシュを取り戻す旅に出ます。

壮大なアイヌ神話をモチーフに、苦境を乗り越え、困難に立ち向かう少年の成長を描いた3部作。人間の欲深さや優しさ、神や魔物の心情も心に響く作品です。

『はてしない物語』

ミハエル・エンデ / 作 上田 真而子 / 訳
佐藤 真理子 / 訳 岩波書店



この物語は、いじめられっ子の少年バスチアンが古書店で1冊の本と出会うところから始まります。本の中の国「ファンタジエン」は、「虚無」の拡大で崩壊の危機を迎えていました。国を救うためには「救世主」を探さなければなりません。やがてバスチアンは、その本『はてしない物語』の中に入り込み、不思議な冒険に巻き込まれていきます。物語を読む自分自身も、いつの間にかバスチアンと一緒に本の世界と現実世界を行き来しているような不思議な気持ちになれる本です。

バスチアンの冒険の行く末を、ぜひ読んで見届けてください。

『未知なる冒険の書 自然に学び、地球上で遊ぶ336の知恵』

名もなき冒険家 / 文・絵 テディ・キーン / 原書編集 葉山 亜由美 / 訳 トゥーヴァージンズ



本書は、アマゾンの森に残されていた“名もなき冒険家”による手記を1冊の本にまとめたものです。

生き抜くためのサバイバル技術や自然を楽しむ方法、世界中を放した体験記が鮮やかなスケッチと共に描かれています。それらのスキルはいつか危機に直面した時に必要になるかもしれません。冒険に必要なのは慎重な計画と準備、そして好奇心と少しの勇気です。この本を読んでまだ見ぬ冒険へと出かけてみませんか?

『境い目なしの世界』

角野 栄子 / 著 理論社



スマホを買ってもらった中学生のヤエは、奔放な性格のクラスメイト・ミリや、密かに思いを寄せるコウとライン友だちになります。しかし、ふたりはだんだんと学校を休みがちになり、ラインもそっけなく…。

そんな時、街で見かけたコウを追いかけて、ヤエはあるビルに入ります。そこはフィギュアだらけのバーチャル世界のような不思議な場所でした。ヤエはたったひとり、ミリとコウを救うために奔走しますが…。

「魔女の宅急便」シリーズの作者・角野栄子さんの小説。スマホやゲームについて考えるきっかけにもなる1冊です。

『精霊の守り人』

上橋 菜穂子 / 作 二木 真希子 / 絵 偕成社



女用心棒のバルサは、ある国の妃から第二皇子チャグムを守ってほしいと依頼されます。チャグムには秘密があり、そのため、あらゆる者から命を狙われていました。

アニメ化・ドラマ化もされた「守り人」シリーズの第1弾。チャグムを守って戦うバルサのアクションシーンが格好よく、最後まで見逃せない展開となっています。ハラハラドキドキの冒険を、本を通じて体験できますよ。

